

城下町散策
まっすぐマップ

徒歩で島原城へ

紅梅を透きて白亜の天守閣
(平尾圭太)

はじまりはじまり〜!

城下町散策
まっすぐマップ

島原駅から
島原城へ
まっすぐマップ

城下町散策:『森岳酒蔵』(Luna Base)と愉快的仲間たち
〒855-0045 長崎県島原市上の町897 ☎0957-68-7616 森岳商店街

城下町散策
まっすぐマップ

徒歩で島原駅へ



はじまりはじまり〜!

城下町散策
まっすぐマップ

島原城から
島原駅へ
まっすぐマップ

城下町散策:『森岳酒蔵』(Luna Base)と愉快的仲間たち
〒855-0045 長崎県島原市上の町897 ☎0957-68-7616 森岳商店街

城下町散策
まっすぐマップ

徒歩で四明荘へ

写真では
わかりにくい
のが残念。
見てね〜!



はじまりはじまり〜!

城下町散策
まっすぐマップ

四明荘へ
しめいそう(鯉の泳ぐまち)



城下町散策:『森岳酒蔵』(Luna Base)と愉快的仲間たち
〒855-0045 長崎県島原市上の町897 ☎0957-68-7616 森岳商店街

城下町散策
まっすぐマップ

徒歩で白土湖へ



はじまりはじまり〜!

城下町散策
まっすぐマップ

白土湖へ
しらちこ



城下町散策:『森岳酒蔵』(Luna Base)と愉快的仲間たち
〒855-0045 長崎県島原市上の町897 ☎0957-68-7616 森岳商店街



徒歩で島原駅へ



♣島原の子守唄



島原の偉人宮崎康平は島原の子守唄の作者であり、小説『まぼろしの邪馬台国』も著し、邪馬台国歴史ブームを巻き起こしました。島原鉄道の発展にも寄与し、その時の過労で盲目になったそうです。
タレント宮崎香蓮ちゃんのおじいちゃんです。

♣森岳の街路灯



街歩きのたよりにするのが…道祖神をイメージした街路灯。側面には趣向を凝らした案内プレートがついています。「道しるべ」、「史跡案内」、島原を詠んだ「うた」。そして島原の歴史を折り込んだ「島原ふるさとイロハかるた」など。森岳の街路灯巡りは知人ぞ知る「歌枕の旅」です。『街路灯さらく』も楽しいですよ。

♣森岳の街並み 『吉田松陰も坂本龍馬もこの町並みを歩きました。』



400年の歴史を刻む森岳の街並みは、島原城のお膝元に生まれました。島原大変(1792)の大被害も乗り越えて、長く島原半島の中心商店街でした。通りに垣間見える石垣の連続はそのまま島原城郭ライン。どこからでも五層の天守閣が見えます。今も当時の面影を残す有形登録文化財建物群がいくつも残っています。

車社会になって時代に取り残されましたが、それゆえに街並が残り、現在は歴史を活かしたまちづくりを進めています。日本語も島原弁も通じますから、街の人に話しかけてみてください。まちへの思いが伝わってきますよ。

森岳商店街はそんじょそこの駅前商店街ではありません。駅の前に出来たのではなく、江戸時代から賑わっていた商人町に、後から(大正2年)やってきたのが島原鉄道(島原駅)です。



♣恵比寿様



七福神の中で海の神様が恵比寿様、ちかくに漁業集落があった名残り。東虎口坂の脇にまつられています。寛政4年(1792)の島原大変の津波はここまで(津波境)到達しました。



♣森岳酒蔵 『島原城には七つの門がありました。』



大手門・東虎口門・先魁門・田町門・北門(諫早門)・桜門・西虎口門。そのひとつが東虎口門で、両虎口門は普段は閉じられていたそうです。小浜湯元の本多家は明治になって七門の一つを買い受け、移築しました。今も見ることができます。(先魁門が田町門だと言われています。)

『城下町散策』の総合案内所「酒蔵」は明治38(1905)年築造の有形登録文化財建物。コンシェルジェ(案内人) おみつが「Luna Base」でお待ちしています。丸い形をしたレンガ煙突は非常に珍しく筑豊の炭鉱にしかありません。

この石垣が城内と城下町を区切っていたものです。



ポケットパーク
佐久間邸跡



お堀の中から登って
いきます



島原の子守唄
の作者。
うんちく: 島原駅
のところを
見てね。

宮崎康平碑

よりみち
ふるの

古野梅園



天守閣入口に
向かって
左手の坂道を
くだります。

車も通る広いS字の坂道は
使いません!
北側梅林の横に下り坂があります。
そこからスタートです!
車の人には経験できない本物コース(正規ルート)です。

START

はじまりはじまり~!

森岳

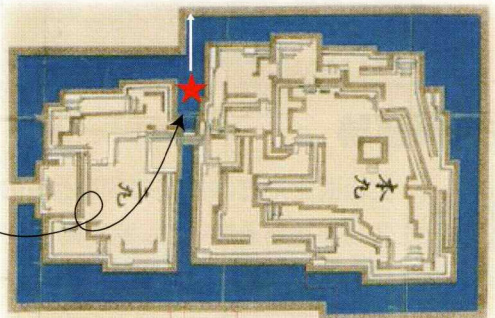
城下町散策
まっすぐマップ

島原城から
島原駅へ
まっすぐマップ

城下町散策:『森岳酒蔵』(Luna Base)と愉快的仲間たち
〒855-0045 長崎県島原市上の町897 ☎0957-68-7616 森岳商店街



五足の靴



江戸時代の古地図



幻の廊下橋

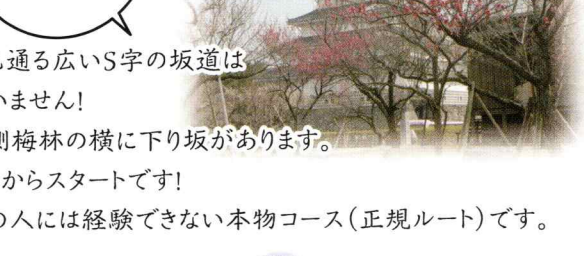


大きな石垣
ここが正門?

鏡石



北村西望翁の彫像



天守閣入口に
向かって
左手の坂道を
くだります。

車も通る広いS字の坂道は
使いません!
北側梅林の横に下り坂があります。
そこからスタートです!
車の人には経験できない本物コース(正規ルート)です。

START

はじまりはじまり~!

森岳

城下町散策
まっすぐマップ

島原城から
島原駅へ
まっすぐマップ

城下町散策:『森岳酒蔵』(Luna Base)と愉快的仲間たち
〒855-0045 長崎県島原市上の町897 ☎0957-68-7616 森岳商店街

五足の靴



「五足の靴」は、与謝野寛が、まだ学生の身分だった太田正雄、北原白秋、平野万里、吉井勇の4人を連れて旅した紀行文(1907年発表)。5人は島原城跡を見学、天草・島原の乱と天草四郎に想いをはせる。

佐久間邸跡



上級武士たちはお城の周りとの丸北側辺りに陣取っていました。この佐久間邸跡もその一つ。昭和時代まで残存していましたが、今はその跡だけが残っています。

石垣も隅切りで丸く積みなおされましたが、あなたの想像力で補ってくださいませ。

幻の廊下橋



鏡石を右手に立つと、こちら側本丸と前方(文化会館のある)二の丸の石垣は同じ高さです。ここに廊下橋がかかって、堀を越えていたわけです。私たちが下っていく順路はのちの時代に作られたものです。

本物の石垣に触れながら、在りし日の島原城を想像するのも楽しい。
※森岳商店街の愉快的仲間たちは、2015年実物大の張りぼて廊下橋を再現しました。(写真参照)

鏡石



表面積の広い石をはめ込む「鏡石」の石積みは信長・秀吉の時代に流行り象徴的な場所に施されました、巨大な角石といい、廊下橋を渡ったここがまさに島原城の本丸正門の証といえます。来城者の目を驚かせたことでしょう。

古野梅園



NHKプロジェクトXでも紹介されました。魚群探知機などを開発し世界に名をとどろかせた、古野兄弟は島原出身。古野家の寄贈でこの梅園が出来上がりました。

島原城



全国にお城は多いですが、島原城は実戦をくぐり抜けた珍しいお城。天下を驚かせた島原の乱(1637)で、一揆軍は城攻めに失敗、押し戻されて(南に20数キロ)有馬の原城に天草四郎と籠城、そのまま悲しい運命をたどりました。

さすが築城の名手・松倉重政ドノ。本丸と二の丸。それを取り囲む石垣と堀は当時のまま。そのスケールの大きさと幾多の歴史をご堪能ください。

天守閣正面に通じるS字の車道路は昭和のはじめに取り付けられたもの。本来は、二の丸から「廊下橋」を渡ることしか本丸には進入できませんでした。数千の一揆軍も侵入できなかったお城ですが、現在は本丸天守閣に車で横付け……。現在の天守閣は昭和39年(1964)になって市民の浄財で再建され、内部は超一級のキリシタン関係資料館となっています。入館料540円。

♣森岳酒蔵 『島原城には七つの門がありました。』



大手門・東虎口門・先魁門・田町門・北門（諫早門）・桜門・西虎口門。そのひとつが東虎口門で、両虎口門は普段は閉じられていたそうです。小浜湯元の本多家は明治になって七門の一つを買い受け、移築しました。今も見る事ができます。（先魁門か田町門だと言われています。）

『城下町散策』の総合案内所「酒蔵」は明治38（1905）年築造の有形登録文化財建物。コンシェルジェ（案内人）おみつが『Luna Base』でお待ちしております。丸い形をしたレンガ煙突は非常に珍しく筑豊の炭鉱にしかありません。

この石垣が城内と城下町を区切っていたものです。



♣恵比寿様



七福神の中で海の神様が恵比寿様、ちかくに漁業集落があった名残り。東虎口坂の脇にまつられています。寛政4年（1792）の島原大変の津波はここまで（津波境）到達しました。



♣森岳の街並み 『吉田松陰も坂本龍馬もこの町並みを歩きました。』



400年の歴史を刻む森岳の街並みは、島原城のお膝元に生まれました。島原大変（1792）の大被害も乗り越えて、長く島原半島の中心商店街でした。通りに垣間見える石垣の連続はそのまま島原城郭ライン。どこからでも五層の天守閣が見えます。今も当時の面影を残す有形登録文化財建物群がいくつも残っています。

車社会になって時代に取り残されましたが、それゆえに街並が残り、現在は歴史を活かしたまちづくりを進めています。日本語も島原弁も通じますから、街の人に話しかけてみてください。まちへの思いが伝わってきますよ。

森岳商店街はそんじょそこの駅前商店街ではありません。駅の前に出来たのではなく江戸時代から賑わっていた商人町に後から（大正2年）やってきたのが島原鉄道（島原駅）です。

♣森岳の街路灯



街歩きのたよりになるのが…道祖神をイメージした街路灯。側面には趣向を凝らした案内プレートがついています。「道しるべ」、「史跡案内」、島原を詠んだ「うた」。そして島原の歴史を折り込んだ「島原ふるさとイロハかるた」など。森岳の街路灯巡りは知る人ぞ知る「歌枕の旅」です。『街路灯さらく』も楽しいですよ。

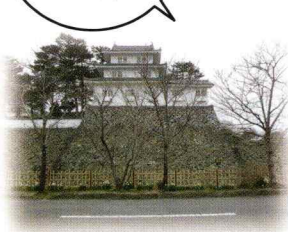
♣島原の子守唄像



島原の偉人宮崎康平は島原の子守唄の作者であり、小説『まぼろしの邪馬台国』も著し、邪馬台国歴史ブームを巻き起こしました。島原鉄道の発展にも寄与し、その時の過労で盲目になったそうです。

タレント宮崎香蓮ちゃんのおじいちゃんです。

お城の心は
は丑寅の櫓
はらきり三階



恵比寿様



東虎口坂のぼる

●中屋

いぎりす・かんざらしをどうぞ



よりみち「城下町散策」

森岳酒蔵

トイレ ? 中屋 ?



おみつがいるよ

めだかの学校

森岳の街並み

地下133mの
おいしい水を
どうぞ

三原電器

YFF

光永商店

マップ
あるよ

本村精肉店

●サンワ理髪館

クレープCANON

駅に降り立つと目の前に島原城が見える

森岳の 街路灯



交番

国道251
車に注意して
渡ろう

? トイレ コインロッカー
島原駅

START

●島原の 子守唄像



はじまりはじまり〜!



城下町散策
まっすぐマップ

島原駅から

島原城へ
まっすぐマップ

城下町散策：『森岳酒蔵』（Luna Base）と愉快的仲間たち

〒855-0045 長崎県島原市上の町897 ☎0957-68-7616 森岳商店街

♣湧水庭園 四明荘 入場料310円



島原の旧家には湧水を活かした庭園がよく造られていて、今でも豊かな島原町人の生活を偲ぶことができます。この他に中堀町の「湧水亭」、万町の「しまばら水屋敷」・「堀部邸」、城内（田屋敷）の「小早川邸」などが残っています。

この屋敷は、伊東元三氏（当時大手伊東病院）が、大正初期に別邸（宅地187.8坪、木造瓦葺約40坪）として建築されました。当時は、サロンとして活用されていたものです。四方の眺望にすぐれていることから、四明荘と名付けられました。

庭園は昭和初期に禅僧を招いて造られたとされ、主屋はそれよりも古い建築です。座敷は東面と南面の二方が池へ張り出す形で縁をまわしてあります。この一段高い座敷から庭園を見下ろすような形はどこにも見られない見事な景観です。

島原市の中心市街地にありながら、静寂なたたずまいを醸し出しています。一日に約千トンの清水が池へ流れ、鯉が泳ぎ、赤松や楓、杉苔の庭園が四季それぞれに美しく、島原を代表する「湧水庭園」です。

♣鯉の泳ぐまち 「主役は水」



もう半世紀も前から、新町（鯉の泳ぐまち）の人たちは「綺麗だった水路が汚れていくこと」を心配しました。水路に色鮮やかな鯉を放流することで、清流に注目してもらい、ゴミを捨てにくくするために毎朝の清掃を欠かしませんでした。

鯉の泳ぐまちの主役は「水」であり、それを守る人々であります。

♣具雑煮



島原半島地域で正月などに食べる独特な雑煮のこと。島原の郷土料理として有名。

その由来は、寛永14年（1637年）の島原の乱のとき、一揆軍の総大将であった天草四郎が3万7千の信徒達と共に原城に籠城した際、農民達にもちを兵糧として貯えさせ山や海からいろいろな材料を集めて雑煮を炊き、栄養をとりながら約3ヶ月も戦った時のものが始まりと言われている。

これをもとに文化10年（1813年）、姫松屋の初代糺屋（こうじや）喜衛エ門が味付に趣向をこらして生み出したのが「具雑煮」のはじまりとか。

♣しまばら水屋敷



古びた小さな門をくぐると異次元にタイムスリップ。ここは藩政時代の豪商・三好屋中山家の離れで、来客接待用に使われていました。1階が和風、増築した2階は洋風という珍しい和洋折衷の建物。明治初年に造られたという。

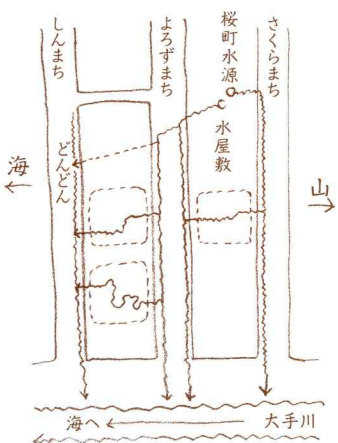
現在は喫茶店として公開されています。湧水で入れたコーヒーやかんざらしをいただきながら湧水の庭園が楽しめます。

♣万町(よろずまち)の水路



万町のとおりの両側には勢いのよい水路が走っています。「しまばら水屋敷」に源を発する水が二股に分かれているからです。【ぞうきんを洗う時は山側の水路で】というルールがあるのですが、今はそれを知る人も少なくなりました。

桜町と万町に挟まれる家は、桜町を流れる桜町水源からの清流（飲用）を取り込み、万町山側水路（排水）に捨てる。万町と新町に挟まれる家は、万町海側の水路（飲用）の水を取り込み、新町の水路に捨てる。その水文化の痕跡を「堀部邸」などに見ることができます。



♣わかば写真館 龍馬のキューピー



城下町散策 まっすぐマップ

砂が巻き上がっています。こんなに湧く井戸。

写真ではわかりにくいのが残念。見てね～！

徒歩で四明荘へ

しめいそう

●湧水庭園 四明荘



ついたよ！



●鯉の泳ぐまち 主役は水



ポケットパーク

水都



●しまばら湧水館

Koiカフェ ゆうすい館



●清流亭

よりみち新名所

●ポケットパーク ほうじゅう



具雑煮

姫松屋

伏見屋



グランパ

十八親和銀行

島原中央支店



アーケードの中にはたくさんの湧水スポット！



オストメイト対応※

●ゆとろぎ足湯

よりみち→山側に50m

●親和の泉



温泉が飲めます。



島原アミューズメントカフェ

マキシム



万町の水路



堀部邸

嘉永元年(1848)

湧水を活かした屋敷。

都一



●しまばら水屋敷

万町の水源。

ふれあいホール

●サンプラザ万町

足湧水



松屋菓子舗

「龍馬の袴は何色？」

海援隊の袴は汚れたらすぐ洗濯して清潔を保つために白色でした。「世の中の洗濯」で忙しかった龍馬の袴は白には見えませんね。



♣しまばらん

島原のゆるキャラ しまばらんは「妖怪ウォッチ」で有名な島原出身の漫画家小西紀行先生作。好きな食べ物は「かんざらし」だとか。



島原守護神しまばらん

♣森岳の街路灯

街歩きのためになるのが…道祖神をイメージした街路灯。側面には趣向を凝らした案内プレートがついています。「道しるべ」、「史跡案内」、島原を詠んだ「うた」。そして島原の歴史を折り込んだ「島原ふるさとイロハかるた」など。森岳の街路灯巡りは知る人ぞ知る「歌枕の旅」です。『街路灯さらく』も楽しいですよ。



♣森岳の街並み 『吉田松陰も坂本龍馬もこの町並みを歩きました。』

400年の歴史を刻む森岳の街並みは、島原城のお膝元に生まれました。島原大変（1792）の大被害も乗り越えて、長く島原半島の中心商店街でした。通りに垣間見える石垣の連続はそのまま島原城郭ライン。どこからでも五層の天守閣が見えます。今も当時の面影を残す有形登録文化財建物群がいくつも残っています。

車社会になって時代に取り残されましたが、それゆえに街並が残り、現在は歴史を活かしたまちづくりを進めています。日本語も島原弁も通じますから、街の人に話しかけてみてください。まちへの思いが伝わってきますよ。

森岳商店街はそんじょそこの駅前商店街ではありません。駅の前に出来たのではなく江戸時代から賑わっていた商人町に、後から（大正2年）やってきたのが島原鉄道（島原駅）です。

♣レンガのうだつ（中野金物店）

島原町屋唯一の本格的な「うだつ」。明治～大正期に西洋建築技術が島原にも伝わり、当時珍しかったレンガ造りで壁を築いた時に、防火用の「うだつ」も作りました。島原の商家は独立家屋が多いので、「うだつ」は珍しい。初めて造られた「うだつの上がる」家です。

♣森岳酒蔵 『島原城には七つの門がありました。』

大手門・東虎口門・先魁門・田町門・北門（諫早門）・桜門・西虎口門。そのひとつが東虎口門で、両虎口門は普段は閉じられていたそうです。小浜湯元の本多家は明治になって七門の一つを買い受け、移築しました。今も見る事ができます。（先魁門か田町門だと言われています。）

東虎口門あとに『城下町散策』の総合案内所『森岳酒蔵』があります。明治38（1905）年築造の有形登録文化財建物。コンシェルジェ（案内人）おみつが『Luna Base』でお待ちしています。

丸い形をしたレンガ煙突は非常に珍しく筑豊の炭鉱にしかありません。この石垣が城内と城下町を区切っていたものです。

♣青い理髪館

大正12年建築された洋館造り。関東大震災後、全国的に洋館ブームが起こるが、その波が島原にも押し寄せて、このようなモダンな建物が造られた。流行の最先端を行く病院や写真館、理髪店などにはよく洋館造りが見られたが、それもすっかりなくなってしまった。この建物は、つい十数年前まで実際に床屋さんが営業していたもの。

それが今、リニューアルして「青い理髪館」として甦り、「森岳まちづくり」のシンボルとしてお役に立っている。1階の部屋には当時の床屋さんの道具がそのまま残っている。その椅子に座り、鏡に映る姿を見ながら飲むコーヒーは、大正ロマンの香りがする。



笑う少女
北村西望彫像めぐりも面白い。

万町商店街
（サンシャイン中央街）

アーケードに入ります。

市役所広場を縦断

清涼庵 トイレ

行き止まりの坂道

二一ニヨ・二一ニヤ

nido

伴製菓舗

森岳の街路灯

はやめがわ 速魚川

猪原金物店

万延2年（1861）築

森岳の街並み

上田宝飾時計店

中野金物店

レンガのうだつ

三原電器

YFF

光永商店

めだかの学校

東虎口坂

宮崎家

愛児保育園

杉の木

天神

坂をくだる。

START

青い理髪館

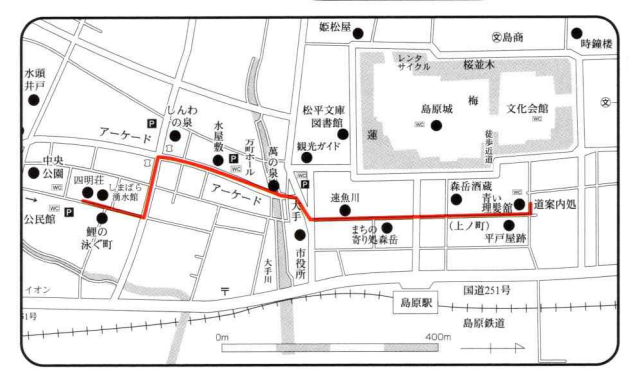
工房モモ

はじまりはじまり〜！ 青い理髪館から

城下町散策 まっすぐマップ

四明荘へ

しめいそう（鯉の泳ぐまち）




♣ 白土湖と音無川



この湖は寛政の大地変（1792）の副産物である。眉山の大崩壊後、一帯から水が噴出して、長さ10町（1100㍓）幅3～4町（330～440㍓）にわたり水があふれました。また市内各地から湧水が続きました。堀切作業は簡単には行かず、各村から人夫を集めて、やっと翌年春に排水路を仕上げました。こうしてできた川が『音無川』。工事を早く終らすために低地を選んで掘り進めたので、傾斜がほとんどなく、それで川の水音がほとんどしないことから音無川というようになりました。

以来2百年間、枯れることなく湧出している水量は毎秒1㍓以上で、実に30万の人口を養うに余りある水を恵んでいます。雲仙岳や眉山に降った雨水は地下水となって市内各地に湧き出て、「水の都・島原」をつくっています。

♣ 島原半島殉教者記念聖堂



二十六聖人殉教から400年目にあたる1998年末完成したばかりの新しい教会。

島原半島はその昔、キリスト教のさかんな地域。領主有馬氏を始め領民のほとんどが信者で、領内には各村に教会が、有馬にはキリシタン神学校セミナリオが開校していました。そこで学んだ少年が天正遣欧使節として、ローマ教皇の元へ出かけた程です。その後コレジオも開かれてキリシタン文化が花開き、キリシタン王国といってよいくらいでした。

しかし豊臣秀吉が禁教令を出すと一変、各地で弾圧が始まりました。多くの信者が殉教して、島原半島は血で染められました。そして島原の乱が起こり、3万もの住民が虐殺されたのです。

この教会は、島原半島が布教の中心地で、その文化が栄えながらも、その後の徹底した弾圧でかき消されたキリスト教の歴史、特に殉教という栄光の証を記念する施設として創建されたものです。

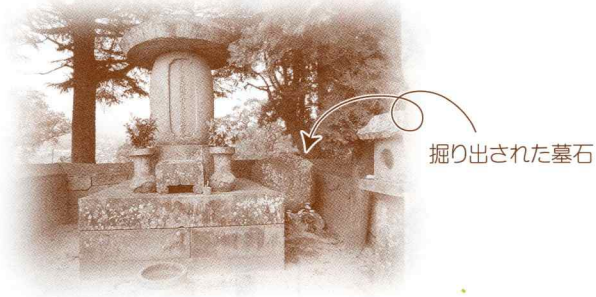
ステンドグラスには、島原キリシタンの歴史を織り込んであります。それを見て、キリシタンの歴史に思いを馳せてはいかがでしょうか。

♣ 涅槃像(ねはんぞう) 松倉重政公の墓は二つ？



このお寺「江東寺」は島原藩松倉家の菩提寺です。島原城と島原の町並みを作ったのが松倉重政。涅槃像の脇に重政公の墓がありますが、二つ並んでいます。実は寛政の大地変（1792）でお寺ごと水没（白土湖）してお寺も墓も再建されました（1828）。ずっと後になって掘り出された墓石が、その横に安置されたというわけです。（上半分は欠けています。）

江東寺再建の際、奉納された「涅槃図（お釈迦様入滅の様子）」の刺繍絵はこのお寺の宝（島原市指定文化財）。この涅槃図にちなんで涅槃像が作られました（1957）。



♣ 年中飾る『しめ縄』 キリシタン弾圧の歴史の痕跡？



この界隈の古い町家には「しめ縄」が、お正月だけでなく一年中飾られています。「うちはキリシタンではありません。」ということの表れだという人もあります。また建築の特徴として、玄関を入ると直ぐのところに仏壇があって、これもキリスト教ではないことを主張しているのだと考える人もいます。「山崎家」（旧小松屋）などにその特徴がよく表れています。

※諸説ありますが、当時の商人たちの豊かさと篤い信仰心をうかがうことができます。



徒歩で白土湖へ

550メートル
白土湖ぐるっと回って



白土湖と音無川



白土湖珈琲館



GOAL

ついたよ！

帰りは寺町通を散策してください。今来た道の2本山側に大通りを挟んで平行して歩けます。



教会内

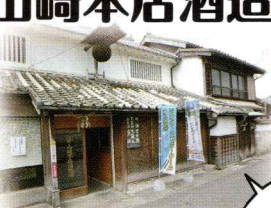


島原半島殉教者記念聖堂

山崎本店酒造場



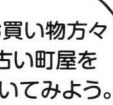
嘉永元年(1848)



お買い物方々古い町屋を覗いてみよう。



涅槃像



風見鶏



猿田彦大神(道別命)

みちわけのみこと



年がら年中しめ縄？



焼とりなかがわ



水頭



monブドウ畑



護国寺

叶寺

光伝寺

善法寺

寺町通り



右手山側2本向こうに寺町通りがあります。

かえりみち

うどんほんだ



ゆとろぎ足湯



吉村玩具店



快光院

崇台寺



猿田彦大神

うん
ちく

つん
ちく

みちわけのみこと

つん
ちく

つん
ちく

つん
ちく

つん
ちく

つん
ちく



〒855-0045 長崎県島原市上の町897 ☎0957-68-7616 森岳商店街